

令和元年度第9回新潟市清掃審議会会議概要

開催日時	令和2年2月13日（木）午後3時～午後4時52分	
会場	新潟市役所 本館6階 講堂3	
出席者	出席委員	山賀会長、西條副会長、井下田委員、石本委員、内山委員、 遠藤委員、黒川委員、小松委員、斎藤委員、鈴木委員、 関谷委員、鶴巻委員、西海委員、村井委員、横木委員 計15名
	事務局	環境部長、循環社会推進課長、廃棄物対策課長 ほか
主な議事	<p>1 開会</p> <p>2 議題 新潟市一般廃棄物処理基本計画（案）について</p> <p>ア. パブリックコメントについて イ. 新潟市一般廃棄物処理基本計画（素案）の修正について ウ. 古紙リサイクルの現状について</p> <p>3 連絡事項</p> <p>4 閉会</p>	
	<p><審議の進め方></p> <p>それぞれの議題について資料に基づき事務局が説明を行った後、委員からの意見・質問を受け審議を進めた。</p>	

<p>主な議題</p>	<p>(主な質問・意見等)</p> <p>新潟市一般廃棄物処理基本計画（案）について</p> <p>ア. パブリックコメントについて</p> <p>○ No. 6について。ごみ指定袋の手数料を値下げして市民へ還元することと、まちづくりを頑張っている方への補助金にあてることは主旨が違う。回答として、この違いが伝えきれていないため、分かりやすく説明する必要がある。</p> <p>市～ ご意見としていただく。</p> <p>○ No. 9について。区役所では、乾電池などの収集を行っていないのか。</p> <p>市～ 乾電池とペットボトルは区役所で回収しているところと、していないところがある。例えば、東区役所や中央区役所はペットボトルなどの回収はしていない。</p> <p>○ コスト面等もあるが、区役所での回収もしたほうがよい。</p> <p>○ No. 4について。パブリックコメントを提出していただいた市民は「見える化」してほしいということであると思う。どのような方に補助金を助成しているのか、オープンにしたほうがよい。</p> <p>市～ 市民に伝わるような回答に変更したい。</p> <p>○ No. 3と6について。西蒲区の分別統一をした際、クリーンにいがた推進員の活動があったが、今はあまり見られない。市では、クリーンにいがた推進員の育成はどのようにしていく方針か。</p> <p>市～ 現在の活動について、様々な手段を用いて市民へ知ってもらうように展開している。令和元年7月には、テレビの報道番組でとりあげてもらったほか、次号のサイチョプレスで広報する予定。今後については、意見を取り入れながら検討したい。</p> <p>○ 補助金をどのように使ったかの報告は受けてないか。</p> <p>市～ 実績報告を提出していただく。実績報告後に補助を受けることができる。</p> <p>○ 実際に補助金を申請しているが、収支決算はしっかりとしている。</p> <p>○ 補助金等の使途に関しては、報告書をいただき、いつでも公開できることを記載すれば問題がない。</p> <p>市～ 必要に応じ、追記したい。</p>
-------------	---

- No. 13 について。「大規模な災害時には、広域処理や設置にあたり国の支援が受け入れられる仮設炉での対応を基本としています。」という回答がある。計画書（案）63 ページは、災害時について「新たな焼却施設を整備する際には」と記載があることで、施設を新設する前はどうか市民は不安に思うのではないか。計画に明記すべき点について、細かく盛り込むべきではないか。

市～ 検討したい。

イ. 新潟市一般廃棄物処理基本計画（素案）の修正について

- バイオマスプラスチック製ごみ指定袋の導入検討はいつか。

市～ 令和 2 年度から検討する方向である。

- 2 ページについて。SDGs のサブタイトルはないのか。新聞を見ると「平和と地球環境を守る 17 の目標」というサブタイトルがあり、分かりやすいと思う。

- SDGs のキャッチコピーは、多種多様ある。正式名称は記載のとおり「持続可能な開発目標」である。キャッチコピーを、入れるか入れないかは事務局と調整するところである。

市～ 検討したい。

- 50 ページと 53 ページの SDGs の指標について。50 ページの「リデュース・リユース」は、市民を巻き込んだ生活圏に近い狭い範囲のものである。「リサイクル」は大きなサーキュレーションを意味し、広い範囲のものである。施策 1 と施策 2 で SDGs の目標が一緒である。違いがあるのに同じ指標としているのはなぜか。ターゲットの設定基準はあるか。

市～ 計画書（案）100 ページの巻末資料に、計画の施策に対する目標とターゲットで合致するものをリスト化している。

- 52 ページのコラム 6 について。「リサイクル品の提供について」とあるが、実際にはリユース品の提供ではないか。

市～ 定義を整理して記載したい。

- 10 ページについて。特定 5 品目の収集回数は月 1 回ではないか。

市～ 訂正し、掲載する。

- **資料 2** 1 ページについて。未処理排水は最終的に農業用排水路へ流れる。この水は、農業に再利用することがあることから、ぜひ水質改善を推進していただきたい。

市～ ご意見としていただく。

○ 40 ページについて。リフューズについて説明がない。下記にでも表記していただきたい。

市～ リフューズについて記載するのであれば、巻末の用語集に記載したい。しかし、3R（スリーアール）と混同しないよう削除したほうがよいと考えるがいかがか。

○ リフューズを含めたのは環境白書を考慮したためか。

市～ 市の環境副読本に4Rがあったため、その流れから記載した。

○ リフューズはエシカル消費と関係しているのではないか。エシカル消費を紹介しているのであれば、記載すべきではないか。

○ リフューズの記載があったほうがよいのではないか。ごみを減らすリデュースと関係がある。しかし、3Rと混同してしまうという意見が出ることも分かる。

○ 3Rの優先順位を説明するのであれば、リフューズの記載はないほうがよい。

○ リフューズの考えは計画書（案）の他の部分で触れているか。

市～ 40 ページの記載のみである。

○ 食品ロス削減に関する内容が51 ページにあるのであれば、関連する内容として記載してもいいのではないか。

○ 図にリフューズの記載は必要ない。

市～ 検討したい。

○ 105 ページについて。SDGsの説明が、17の目標と169のターゲットの記載があるが三層構造である最後の「232のインディケータ」が抜けている。

市～ 追記する。

○ 62 ページについて。カーボンニュートラルについての説明が、カーボンオフセットの説明になっている。

市～ 確認する。

ウ. 古紙リサイクルの現状について

- 輸出先は中国が一番多いのか。

市～ 古紙問屋によると、市の割合も国の動向と同じく2～3割を海外に輸出している。

- 古紙を分別するとどのような効果があるのか。

市～ 分別を徹底され、リサイクルできない古紙が混じらなければ、古紙問屋が残渣処理料を支払わなくてもよいため、経営環境が好転する。

- 古紙類のなかで一番多いのは新聞か。

市～ 新聞が一番多い。

- ペーパーレスの時代になりつつあるが、古紙類の処理はどのような方針か。

市～ 分別が徹底して古紙類の品質を上げ、資源循環を維持していくことを第一に考えたい。

- 新聞社に協力いただければ、高い効果が出るのではないか。そのうえで考えていただきたい。

市～ 一自治体で言える話ではないが、国の動向を見ながら見て判断したい。

- 折り込みチラシは新聞と混ぜて出してはいけないのか。

市～ 混ぜて出してよい。

- 古紙類の分別について、よく分からない人が多いため、徹底されないのではないか。一つテーマを絞ってでもいいので、メディアや口コミで話題になるような取り組みをしてほしい。

- ごみ分別促進アプリを使っているが、ごみ出しに便利であり、古紙類についても掲載がある。しかし、誰でもアプリが使えるわけではないので、例えばテレビや、自治会から広く市民へ紹介する手段を活用するのもよいのではないか。

- 50ページのリデュースの推進について。各審議会では、ペットボトルの使用がみられる。庁内でリユースカップを使用するところから始めてみてはどうか。

市～ 広報等をしていきたい。

- 60ページについて。例えばコラムとして、クリーンにいがた推進員の活動に触れたらどうか。

市～ 記載したい。